



新年のご挨拶



一般社団法人
京都市老人福祉施設協議会
会長
児玉 直久

新春の候、皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。

旧年中は、京都市老人福祉施設協議会の活動に多大なるご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

昨年は、コロナ禍を経て対面での会議や交流会の機会が少しずつ増え、久しぶりに直接お顔を合わせて意見を交わす場を持つことができました。やはり、対面だからこそ生まれる温かさや深いコミュニケーションの大切さを改めて実感した一年でした。

さて、ご承知の通り、京都は長い歴史に培われ、顔の見える関係と地域での助け合い、支え合いを「京都の地域力」として大切に紡いできました。

しかしながら、ライフスタイルや価値観の多様化、超高齢化・人口減少社会を背景に、地域コミュニティも希薄化が進み、大きな課題となっています。

そのような中、当協議会の会員施設は、高齢者施設としての役割はもとより、それぞれの地域で、地域の一員として、暮らす人々が誇りをもって地域づくりに参画する共生社会の実現に向けて、「誰もが支え・支えられるものである」という考え方のもと、施設の資源や特徴、その多様性を活かしながら、人と人、人と社会がつながり合う取り組みが生まれやすいような環境を整えるお手伝いに努めてまいりました。

今年の干支、巳はその生命力の強さから、「再生」「復活」「長寿」を象徴しているそうです。

本年も、温故知新を念頭に、いただいたつながりを大切にしながら、地域に根差した福祉施設として、引き続き「安心」と「共生」の輪を広げて、より一層、地域の皆様が安心して暮らせる福祉環境を目指して、会員施設一丸となって取り組んでまいります。

皆様にとりまして、明るく希望に満ちた一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

INDEX

- 01 新年のご挨拶
- 02 介護の日記念事業 映画上映会
介護の日 ハートメッセージ研修
- 03 KYOTO かいごフォトコンテスト
未来のかいご イラストコンテスト
- 04 松井京都市長への表敬訪問
【御礼】車椅子の寄贈について
- 05 リハビリ部会 新LIFEについて・介護部会 施設見学会
- 06 新入職員フォローアップ研修・秋季懇親会のご報告
- 07 新規施設紹介 洛和ヴィラ桃山Ⅲ番館
- 08 ハートメッセージ紹介 (4名)

協議会のYouTubeとInstagram登録を、
ぜひよろしくお願いいたします！



YouTube



Instagram

介護の日 記念事業

映画「オレンジ・ランプ」 上映会開催



(開催日：2024年11月9日 / 開催場所：ひとまち交流館 京都)

映画上映会：開催の目的

- ・介護について出来るだけ多くの方にわかりやすく理解していただく機会とすること
- ・今は介護に直面していない方も、介護が必要な方やそのご家族、介護従事者、それらを取り巻く地域社会について、様々な視点から考える機会となること
- ・広く多くの方に福祉介護について改めて考えて頂く機会とすること



映画「オレンジ・ランプ」は、若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに描く、夫婦の希望と再生の物語。明るく前向きに生きる姿が描かれており、当日は178名の方にご視聴いただき、人と人が支えあう大切さと、自分らしく生き続けることについて考えさせられる機会となりました。

ご視聴後 アンケート (一部抜粋)

- ・認知症について勉強になった
- ・決して他人事ではないと感じた
- ・周りの人のちょっとした思いやりが地域で生活する認知症の人の役に立てると思った
- ・あきらめない事の大切を考えさせられた

境を作るにはどうしたらよいかなどについて、グループワークを行いました。「認知症のことをもっと一般の方にも理解してもらいたい」「理解してもらうにはまずは知ってもらうことが必要」など、活発な意見がたくさん出て、映画の製作者の方たちの想いをしっかりと受け止めていたと感じています。研修後には懇親会を行いました。普段は別々の法人で勤務していますが、初めて顔を合わせる方ばかりでしたが、同じハートメッセンジャーとして、和気あいあいとした雰囲気でもコミュニケーションを交わしている様子から、今後もこのような法人を越えた職員同士のつながりの機会を大切にしたいと改めて感じました。

(人材確保・定着委員会)



令和6年11月9日
(土) 介護の日記念事業における映画上映会に併せて、ハートメッセンジャー研修を開催しました。
この研修会もコロナの影響により集合による開催は5年ぶりとなりました。映画「オレンジ・ランプ」を市民の皆様と一緒に視聴ののち、映画の感想や認知症の方が住みやすい環境の方が住みやすい環境

介護の日 ハートメッセンジャー研修

KYOTO
かいごフォト
コンテスト

令和6年度 KYOTOかいごフォトコンテスト 一次審査通過作品

今年も介護のすばらしさ、喜び、楽しさ、やりがい、感謝が伝わるたくさんの作品をご応募いただきました。その数26施設からなんと92作品。大激戦の一次審査を通過した、今年の「いい日いい写真展」に展示する20作品をご紹介します！



毎年審査員を務めてくださっている、写真家の成田先生のコメントは、フォトコンテスト特設サイトにてご覧いただけます。



12月18日には表彰式が行われました。
これからも素晴らしい作品を撮ってくださいね！

君たちのみらい、
君たちがミライ



令和6年度「介護の日」記念事業

イラスト 未来のかいご コンテスト



○開催場所○

堀川御池ギャラリー
2階 B.C室



特設サイトQR

○展示期間○

令和7年3月1日(土)~
3月2日(日)

開場時間⇒11:00~17:00

※入場は16:30まで

スケジュール

1次審査⇒令和7年1月23日(木)

入賞発表⇒令和7年2月初旬~中旬

(当サイトにて発表予定)

表彰式⇒令和7年3月1日(土)13:00~

堀川御池ギャラリー(展示室内)

※応募は令和7年1月10日(金)に締め切りました。

松井京都市長への 表敬訪問

令和6年3月26日に、前月25日に第27代京都市長に就任された松井孝治市長への表敬訪問をさせていただきました。当日は、松井市長とともに、吉田副市長、安部前保健福祉局長、谷利前健康長寿のまち・京都推進担当局長にもご同席いただきました。

当会からは、児玉会長をはじめ山田顧問、山岸顧問、溝口副会長、西村副会長、河本副会長にご出席いただき、市長就任のお祝いとご挨拶を申し上げ、高齢者福祉現場の経営や人材確保などがたいへん厳しい状況にあることをお伝えしました。そして、今後とも密接な意見交換や情報交換を継続し、高齢者福祉分野への更なる理解と支援を要望しました。

松井市長からは、福祉介護分野も含めて人材確保はたいへん重要な課題であると認識している、今後も貴会との連携の中で取組を進めていきたい、とお話をいただきました。



【御礼】車椅子の寄贈について

12月11日、株式会社ケーエスケー様より、会社創立二十五周年を記念して当会の会員施設に車いす二十五台をご寄贈いただきました。高齢者福祉の向上に多大なご貢献を賜り、深く感謝申し上げます。



今回ご寄贈いただきました株式会社ケーエスケー様は、近畿圏内で医療用医薬品、医療機器、医療材料および臨床検査試薬等の卸売業、ならびに、倉庫業および貨物自動車運送業などの事業を展開しておられ、CSRや地域密着活動などにも幅広く取り組んでおられます。

新LIFEについて

令和6年10月28日（月）第1回リハビリ部会研修会を京都経済センターで開催しました。今回は京都市保健福祉局保健福祉部監査指導課の方をお招きし、新LIFEシステム（個別機能訓練加算・ADL維持等加算・自立支援促進加算）についての概要の説明、質疑応答を行いました。令和6年4月の介護報酬改定では、「新LIFEシステム」が導入され、施設での関心は高く、機能訓練指導員だけでなく、相談員や事務員、施設管理者など幅広い職種の方が58名参加されました。概要の説明では加算の原則、加算の取得にかかる運営指導で実際に指摘された項目だけでなく、各施設で行われている取組みも紹介していただき、加算に対する知識を深められました。また、質疑応答では直接、監査指導課の方から返答を頂くことができました。参加された方には、経験年数の浅い機能訓練指導員の方や機能訓練指導員業務を一人で担っている方も多く参加されていましたので、今まで不安に感じていた部分を払しょくできたのではないのでしょうか。

参加者アンケートでは、直接監査指導課の方に相談できたことや、日々の業務の見直しにもつなげることができ、参加してよかったとの感想を聞くことができました。

機能訓練指導員が関わる加算が近年増えてきています。「加算を取得する為に…」と考える前に、「ご利用者が健康で、活き活きとした日々を過ごせるように…」という考え方が浸透し、「ご利用者・入居者の生活が、より充実したものとなるよう日々活動できれば」と思います。

今後もリハビリ部会では、高齢者福祉施設で機能訓練に関わる職員向け、研修会などを通じ情報発信や交流の機会を設けていけるように企画運営を行っていきます。

（施設ケア委員会・リハビリ部会）



介護部会 施設見学会



10月9日に介護部会主催の施設見学会が、『特別養護老人ホームすないの家太素』で行われました。コロナ禍で他の施設との交流が難しくなっていました。コロナ禍後行後介護部会では他施設との交流を積極的に行っています。この日は16名が参加し、施設の概要説明を受けた後、現在の運営状況や工夫などを教えていただきました。二ツトを見学させていただきました。その後の意見交換会で、『多様性を尊重した取組み』を主なテーマとして、すないの家太素で取り組まれている『職員の労働時間・環境』や『外国人材育成・活用』について工夫されている点などをお聞きした後、質疑応答を行いました。参加者からは様々な質問や自施設の現状について積極的に発言があり、大いに盛り上がりしました。

介護部会ではこのような見学会や定例会を通じて情報交換の場を設け、自施設で行き詰まっている課題の解決や好事例の共有、気軽に話ができる関係作りを進めており、情報収集だけではなく参加することで元気をもらえる場でもありたいという思いで活動しています。

（施設ケア委員会・介護部会）



新入職員フォローアップ研修



10月24日（木）に新入職員フォローアップ研修を開催いたしました。研修に参加する入職半年となる職員の事前アンケートで、認知症ケアや職場でのコミュニケーションに対して不安の回答が多くよせられ、皆さん共通の悩みを抱えていることがわかりました。

研修ではグループワークを行い、参加者同士で悩みの共有をして、職場は違えど同じ市老協内の仲間として交流を深めていただきました。

昨年の研修でうまく話せるか不安との意見がありましたので、今年はグループワーク中におやつや飲み物を用意させていただきました。緊張を和らげ、リラックスして話やすい雰囲気となり、それぞれの思いをたくさん話していただけたと思います。

研修後のアンケートで「今の時期、同期も同じ悩みなんだと感じられた」「楽しみながら交流ができた」「自分が一人ではないことを実感できた」との感想をいただいています。

新しい職場に入り不安を抱えている新入職員の方々がそれぞれに抱える思いを純粹に話し、聞くことで市老協にはたくさんの同期の仲間がいることを再認識する機会となれば幸いです。

（人材確保・定着委員会）

10月18日秋季懇親会のご報告

去る10月18日、からすま京都ホテルにおいて、150名の皆様にご参集いただき、秋季懇親会を開催しました。

今年度は5年ぶりの夏季懇親会を企画しておりましたが、感染症の拡大により開催日を調整の上で、秋に実施する運びとなりました。

ご歓談の時間は大変盛り上がり、会員施設の皆様同士の懇親を深める場とすることができました。

秋の開催にちなんだ『ハッピーハロウィン大抽選会！』では、クジに当選された皆さまの大きな歓声をお聞きすることができ、企画部会としても大変うれしい時間となりました。今後も『融和と協調』の精神を大事にこうした企画を実施して参ります。

（総務委員会・企画部会）



2024年3月
NEW OPEN

洛和ヴィラ桃山Ⅲ番館



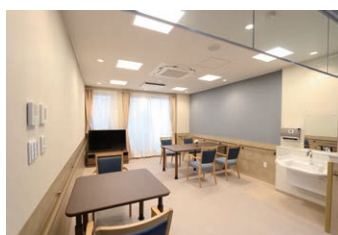
地域に根差し、穏やかに、
安心して暮らしていただける施設を目指して

洛和ヴィラ桃山Ⅲ番館は、桃山地域をはじめとする伏見区において高齢化が進む中で、従来の特別養護老人ホームの収容床数を拡大し、より多くの高齢者に必要なケアを提供するために、複数の介護保険事業と障がい者福祉事業を運営する洛和ヴィラ桃山のサテライト施設として、2024（令和6年）年3月31日に開設致しました。入居者のプライバシーを配慮した全個室型の施設となっております。

当施設では、『洛和ヴィラ桃山MV』として、MISSION「地域に根差し、穏やかに、安心して暮らしていただける施設」、VISION「自分や自分の家族が、利用し

たいサービス・事業所になる」、VALUE「①地域に開かれた施設運営 ②医療との連携強化 ③看取りケアを積極的に実践」を掲げ、ゆつたりとした雰囲気の中で入居者が最期まで自分らしく過ごせるような質の高いケアを目指しております。また、短期入所も積極的に受け入れることで、地域の高齢者の在宅生活支援にも貢献してまいります。

施設周辺は住宅街・公団・学校・保育施設などが集まり、かつ、美しい街路樹や桜並木が点在するとても素敵な地域です。地域の方々の活動も活発です。地域行事にも参加することで、入所者が地域との交流、世代間交流もできるよう取り組んでまいります。



洛和ヴィラ桃山Ⅲ番館

施設概要

法人名：社会福祉法人洛和福祉会

施設長：山川一朗

所在地：〒612-8006

京都市伏見区桃山町大島31-531

電話：075-622-2181

FAX：075-622-2182

事業内容

地域密着型特別養護老人ホーム 24名（2ユニット）

短期入所生活介護 20名

※併設施設について

洛和ヴィラ桃山

特別養護老人ホーム（従来型）100名

通所介護 45名

訪問介護・訪問看護・居宅介護支援事業所

洛和ヴィラ桃山Ⅱ番館

障がい者支援施設（生活介護、施設入所支援）20名

（ショートステイ）2名



ハートメッセンジャー

メンバー紹介

ヴィラ山科 辻井さん



介護の仕事を選んだ理由

家族や友人など周りに介護に携わる人が多く話を聞いていて興味を持ちました。

好きな言葉、座右の銘は？

雨垂れ石を穿つ

趣味・特技を教えてください。

ダーツ・お酒・お店探し

ハートメッセンジャーとして一言！

ひとつひとつ自身ができる事を頑張り、介護に関する事を伝えることができる機会を増やして行きたいです。

ヴィラ上賀茂 小久保さん



介護の仕事を選んだ理由

学生時代、食事の面倒をみてくれていた祖母が、介護の仕事を勧めてくれたため

好きな言葉、座右の銘は？

自由奔放

趣味・特技を教えてください。

子育て（子どもと遊ぶこと）、お昼寝、サイクリング

ハートメッセンジャーとして一言！

介護に携わる身として、介護の魅力が広く普及して欲しいと思います

西陣憩いの郷 島田さん



介護の仕事を選んだ理由

人と人との繋がりやチームで仕事をしているところを目の当たりにして、介護に魅力を感じたからです。

好きな言葉、座右の銘は？

人を想う心は持て

趣味・特技を教えてください。

野球・ゴルフ・BBQ

ハートメッセンジャーとして一言！

最初から面白い仕事や楽しい仕事は中々ないと思っています。でも、自分自身でそれは変えることができます。挑戦してください。

梅津富士園 檜室さん



介護の仕事を選んだ理由

人の生活を支え、社会に貢献できる点に魅力を感じました。

好きな言葉、座右の銘は？

一期一会

趣味・特技を教えてください。

アニメ鑑賞、ゲーム、釣りをすることです。

ハートメッセンジャーとして一言！

利用者様の笑顔や感謝に触れ、やりがいを感じられることが介護の魅力です。

